

## 第3回日本小児耳鼻咽喉科学会議事録 理事会

日 時：平成20年6月20日（土）15：30～16：30

場 所：城山観光ホテル「カトレア」

出席者：市村（理事長），小河原，川崎，工藤，黒野，佐野，泰地，内藤，氷見（理事），田中（監事），川城（顧問），佐々木，福岩，深美，守本，矢野（幹事）（50音順，敬称略）

### 1. 理事長挨拶（市村理事長）

市村会長より挨拶があった。ヨーロッパ小児耳鼻科学会（ESPO, Budapest）での報告があった。

### 2. 第3回総会・学術講演会開催について

黒野理事より挨拶があった。

### 3. 平成19年度事業報告（庶務：泰地理事）

- 1) 第2回平成20年6月23日～24日の2日間，仙台医師会館・仙台市急患センターにおいて小林俊光会長のもとに開催した。
- 2) 第4回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会を平成21年に藤田保健衛生大学耳鼻咽喉科内藤健晴会長のもとに開催することが決定した。
- 3) 日本小児耳鼻咽喉科学会誌 第28巻2号，3号，および第29巻1号を刊行した。
- 4) 理事会および評議員会を平成19年6月23日に開催した。
- 5) 日本耳鼻咽喉科学会主宰の関連する学会懇談会に出席した。
- 6) 小児耳鼻咽喉科の担当領域の改正案と小児耳鼻咽喉科医の到達目標の案を作成した。
- 7) 小児急性中耳炎診療ガイドラインの改訂版作成作業に協力した。
- 8) 選挙管理委員会をおき，理事および監事の選出を行った。
- 9) 会則の改訂案を作成した。
- 10) 平成20年6月12日現在，名誉会員2名，正会員758名，団体会員11名，購読会員2名，賛助会員6名。

#### 4. 平成19年度会計報告（会計担当：小河原理事）

平成19年度の決算について説明があった。雑収入が急性中耳炎診療ガイドラインの売り上げにより増加したこと、会費発行費の減少、事務委託費の増加などによる、収入・支出の増減について説明があり、了承された。

#### 5. 会計監査報告（田中監事）

田中監事、早川監事により、平成20年6月9日に小宮山印刷において会計監査が行われた結果、適正であったことが報告された。

#### 6. 平成20年度事業計画案（庶務担当：泰地理事）

1) 第3回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会を平成20年6月21日～22日の2日間、鹿児島県城山観光ホテルにおいて黒野祐一会長のもとに開催する。

2) 第4回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会を平成21年に藤田保健衛生大学耳鼻咽喉科内藤健晴会長のもとに開催にむけ準備する。会期は平成21年6月27日～28日、会場は名古屋国際会議場である。

3) 日本小児耳鼻咽喉科学会誌 第29巻2号、3号および第30巻1号を刊行する

4) 理事会および評議員会を平成20年6月20日に開催する。

5) 定款及び定款施行細則を一部変更する。

6) 日本小児耳鼻咽喉科学会主宰の関連する学会懇談会に出席する。

7) 小児耳鼻咽喉科取り扱い範囲と小児耳鼻咽喉科の到達目標について引き続き検討する。

8) 小児急性中耳炎診療ガイドラインの改訂版作成作業に協力する。

9) ホームページの維持・充実をはかる。

10) 「小児耳鼻咽喉科診療指針」を出版する。

以上、承認された。

#### 7. 平成20年度予算案（会計担当：小河原理事）

会費収入が正会員数の増加に伴い増収、雑費支出は想定外の支出に対して増加して計上していること、業務委託費は昨年度決算に合わせて増加したことが説明され了解された。黒野理事より繰越金が相当額あるので、今後若い医師の養成を目的とした奨励賞、研究助成金として利用してはどうかとの提案がなされ、市村理事長より、次回理事会までに内容を検討するとの回答があった。また、工藤理事より著者負担の別刷り30部の代金と欧文校正費を学会負担にすることが提案され、承認された。

8. 選挙管理委員会報告（深美選挙管理委員長）

新理事の立候補者が20名，新監事立候補者が2名で定数となり，選挙はおこなわず，全員が承認された。

9. 学会誌編集報告（編集担当：工藤理事）

学術講演会での座長推薦が増えたことにより29巻1号は原著が11編と増加した。編集委員数名の交替について報告があり，了解された。また，学会誌の投稿規定内容の記載を，投稿規定と執筆要項にわけ，用紙をレモン色に変えたこと，科学技術振興機構の推奨に従い表紙及び原著論文の表紙に必要な情報を記載したこと，大学機関リポジトリの収録依頼に承諾する旨が報告され承認された。

10. 保健医療委員会報告（保健医療担当：佐野理事）

小児関連学会連絡協議会に出席し，地域小児科センター病院の構想についての話があったこと，および平成20年度診療報酬の改訂に向けて，日本小児耳鼻科学会より複数の要望を日本耳鼻咽喉科学会に提案したことが報告された。

11. 第5回総会・学術講演会の会長選出の件（市村理事長）

札幌医大氷見教授が推薦され，承認された。

12. 評議員の推薦（市村理事長）

定年制導入による評議員数の減少が見込まれ，今後評議員の適任者がいれば推薦をいただくよう説明があった。

13. 会則改定に関する件（泰地理事）

日本小児耳鼻咽喉科学会会則第13条役員の選任および細則第2条の項目において，すでに理事，評議員の持ち回り審議で検討されたことについて再度報告があり，承認された。

臨時会員について（第5条，細則第4条），会計年度の変更について（第23条），持ち回り評議員会，理事会について（第18条，19条）の会則改定が承認された。

会計年度は6月1日～翌年5月31日であったものを5月1日～翌年4月30日に変更する。

14. 小児耳鼻咽喉科の担当領域の改正案および到達目標の件（小河原理事）

小児耳鼻咽喉科医の到達目標および小児耳鼻咽喉科の担当領域案について報告され，了承を得た。小児耳鼻咽喉科医の到達目標は日耳鼻専門医が1年くらい研修して到達できる位のレベルを想定していることが説明された。

15. 第4回総会・学術講演会の件（内藤理事）

平成21年6月27日（土）～28日（日）に名古屋国際会議場で開催されることが報告された。特別講演について、トロント小児病院前教授のDr. William Crysedaleによる「北米の小児耳鼻科の状況と展望について」を予定している。

理事長：市村恵一

庶務担当：泰地秀信

文責・幹事：佐々木祐佳子・守本倫子

深美 悟・矢野寿一

## 第3回日本小児耳鼻咽喉科学会議事録 評議員会

日 時：平成20年6月20日（土）16：40～17：40

場 所：城山観光ホテル「オーキッド」

出席者：市村（理事長），小河原，工藤，黒野，佐野，泰地，内藤，氷見（理事）  
早川，田中（監事）川城（顧問）井口，小林，熊本，坂田，阪本，佐藤，中井，長井，  
間島，益田，松谷，望月，安岡，由良（評議員），佐々木，福岩，深美，守本，矢野，  
（幹事）（50音順，敬称略）

### 1. 理事長挨拶（市村理事長）

市村理事長より，挨拶があった。

### 2. 第3回総会，学術講演会開催について，黒野理事より挨拶があった。

### 3. 平成19年度事業報告（庶務担当：泰地理事）

- 1) 第2回平成20年6月23日～24日の2日間，仙台医師会館・仙台市急患センターにおいて小林俊光会長のもとに開催した。
- 2) 第4回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会を平成21年に藤田保健衛生大学耳鼻咽喉科，内藤健晴会長のもとに開催することが決定した。
- 3) 日本小児耳鼻咽喉科学会誌 第28巻2号，3号，および第29巻1号を刊行した。
- 4) 理事会および評議委員会を平成19年6月23日に開催した。
- 5) 日本耳鼻咽喉科学会主宰の関連する学会懇談会に出席した。
- 6) 小児耳鼻咽喉科の担当領域の改正案と小児耳鼻咽喉科医の到達目標の案を作成した。
- 7) 小児急性中耳炎診療ガイドラインの改訂版作成作業に協力した。
- 8) 選挙管理委員会をおき，理事および監事の選出を行った。
- 9) 会則の改訂案を作成した。
- 10) 平成20年6月12日現在，名誉会員2名，正会員758名，団体会員11名，購読会員2名，賛助会員6名。

### 4. 平成19年度会計報告（会計担当：小河原理事）

平成19年度の決算について説明があった。雑収入が急性中耳炎診療ガイドラインの売り上げにより増加したことなど，収入・支出の増減について説明があり，了承された。

#### 5. 会計監査報告（早川監事）

田中監事，早川監事により，平成20年6月9日に小宮山印刷において会計監査が行われた結果，適正であったことが報告された。

#### 6. 平成20年度事業計画（庶務担当：泰地理事）

- 1) 第3回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会を平成20年6月21日～22日の2日間，鹿児島県城山観光ホテルにおいて黒野祐一会長のもとに開催する。
- 2) 第4回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会を平成21年に藤田保健衛生大学耳鼻咽喉科，内藤健晴会長のもとに開催にむけ準備する。会期は平成21年6月27日～28日，会場は名古屋国際会議場である。
- 3) 日本小児耳鼻咽喉科学会誌 第29巻2号，3号および第30巻1号を刊行する
- 4) 理事会および評議委員会を平成20年6月20日に開催する。
- 5) 定款及び定款施行細則を一部変更する。
- 6) 日本小児耳鼻咽喉科学会主宰の関連する学会懇談会に出席する。
- 7) 小児耳鼻咽喉科取り扱い範囲と到達目標設定のためのワーキンググループを開催し，小児耳鼻咽喉科の到達目標について引き続き検討する。
- 8) 小児急性中耳炎診療ガイドラインの改訂版作成作業に協力する。
- 9) ホームページの維持・充実をはかる。
- 10) 「小児耳鼻咽喉科診療指針」を出版する。この件について市村会長より，学会としての必要事項であり，出版が決まった経緯について説明があった。

以上承認された。

#### 7. 平成20年度予算案（会計担当：小河原理事）

予算案について，収入・支出の増減について説明があり，承認された。

#### 8. 選挙管理委員会報告（深美選挙管理委員長）

新理事の立候補者が20名，新監事立候補者が2名でともに定数どおりとなり，選挙はおこなわず，全員が承認された。

#### 9. 学会誌編集報告（編集担当：工藤理事）

学術講演会での座長推薦が増えたことにより，29巻1号は原著が11編も掲載されたことが報告され，了解された。また，編集委員の変更があること，学会誌の投稿規定の要旨をレモン色に変えたこと，科学技術振興機構の推奨に従い表紙に必要な情報を記載したこと，大学機関リポジトリの収録依頼に許諾することの報告があった。近年，大学に所属する研究者による論文や学会発表を電子的に保管，公開するアーカイブ

化事業を進める大学があり、当学会も大学機関リポジトリの依頼がある。これについて、学会として許可してゆく方向であることが説明され、承認された。

## 10. 各種委員会報告

### 1) ホームページ委員会：(坂田委員)

現在、年3回の更新を行っている。Eメール送信フォームの画面表示の不具合があったが、修正をおこなった。全国の小児病院とのリンクはまだ完成しておらず、早急にリンクできるよう検討中である。小児科医師に、小児耳鼻咽喉科学会の周知があまりされていないところがあり、小児科学会とも連携をとりながら検討をすすめていきたいとの報告があった。

### 2) 用語委員会：(松谷委員)

日耳鼻から用語集の第2校正の依頼があり、選定用語とその表現法が適切であるか、追加、削除すべきものがあるかなどを検討した。用語集の選定の基準は教科書から選定したものと、小児耳鼻科として一般的に知っておくべき症候群や用語で頻度の高いものを追加した。製本はせず、日耳鼻ホームページに掲載することが報告された。

### 3) 保健医療委員会：(佐野理事)

小児関連学会連絡協議会に出席し、小児科を中心に検討されている地域小児科医療センター構想について報告があった。

平成20年度診療報酬改定にあたり、小児耳鼻科学会から複数の要望を提案したことが報告された。

## 11. 第5回総会・学術講演会に関する件（市村理事長）

理事会において、札幌医科大学の氷見徹夫理事が推薦されたことが報告され、承認された。

## 12. 評議委員の推薦について（市村理事長）

市村理事長より、評議委員が定年制となり退任される人員の補充のため、新たな委員の推薦が必要であることが説明された。

## 13. 会則改訂に関する件（泰地理事）

### 1) 第13条（役員を選任）

### 2) 第5条（会員）臨時会員

### 3) 第23条、会計年度の変更について、6月1日～5月31日であったものを5月1日～翌年4月30日に変更する。

以上につき、変更点の説明があり、承認された。

14. 小児耳鼻咽喉科の担当領域の改正案及び到達目標の件（小河原理事）

改正された小児耳鼻咽喉科担当領域について説明があった。今後、会誌に掲載される予定である。今後も改正されることがある。小児耳鼻咽喉科医の到達目標は日耳鼻の専門医の到達目標に準じて作成され、小児の特殊性を加味した。日耳鼻専門医が一年間研修して到達できる位のレベルを想定していることが説明された。

15. 第4回総会・学術講演会の件（内藤理事）

会期は平成21年6月27日（土）～28日（日），会場は名古屋国際会議場で予定している。特別講演は，トロント小児病院前教授のDr. William Crysedaleによる「北米の小児耳鼻科の状況と展望について」とした。

理事長：市村恵一

庶務担当：泰地秀信

文責：佐々木祐佳子・矢野寿一

守本倫子・深美 悟